

| | |
|-------------------------|--|
| 開講大学 | 香川大学 |
| 開講科目名 | コンピュータと教育 その1 |
| 区分 | 学際科目A |
| 担当教員 | 林敏浩 |
| 学期・曜日・校時 | 前期前半・時間割外 |
| 対象学生 | 全学部全学科 |
| (担当教員が想定する学部・学科の限定等の詳細) | 香川大学での科目分類は、全学共通科目主題B-3「情報とコミュニケーション」共通教育科目なので主に1～2年向けだが、特に限定はしない。 |
| 開講大学での科目分類と対象学生 | 授業科目:全学共通科目主題B-3「情報とコミュニケーション」 対象学生:1～2年全学部 ※「1～2年」とシラバス表記しているが実際は全学年履修可能。 |
| 授業形態 | 第1回ガイダンスを含め、第2～8回は、eラーニング教材による非同期型授業で提供。これに加え、最終課題あり。 |
| 過年度の開講実績 | H22前期、H23前期、H24前期、H25前期、H26前期、H27前期、H28前期 |
| 講義概要 | <p>近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。なお、7、8回目は教育システム研究などの動向により予定と異なる内容になる場合がある。</p> <p>【授業の到達目標】 (1)教育・学習方法の概要を説明できる。 (2)(1)を支える情報通信技術を説明できる。 (3)教育・学習支援システムにどのようなものがあるか概説できる。</p> <p>【成績評価の方法と基準】 各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満、または、最終課題が未提出の場合は得点に関わらず不可とする。</p> <p>【授業計画】 第1回目:講義ガイダンス、「コンピュータと教育その1」の講義で何を学ぶか？ 第2回目:e-Learningでいかに学ぶか？ 第3回目:遠隔講義でいかに学ぶか？ 第4回目:ICTを活用した教育・学習支援(1):CAI(Computer Assisted Instruction)概説 第5回目:ICTを活用した教育・学習支援(2):CAIシステムの歴史と新しい教育システム 第6回目:ICTを活用した教育・学習支援(3):知的CAI概説 第7回目:トピックス:四国におけるe-Learningによる教育連携 第8回目:トピックス:MOOCs ※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>【授業及び学習の方法】 本事業はフルオンデマンドのe-Learning形態で実施するため、講義室での対面授業は行わない。詳細はe-Knowledgeコンソーシアム四国HP「開講科目」ページ内にある『単位互換についての履修案内はこちら』(URL:http://www-ek4.cc.kagawa-u.ac.jp/courses/)に記載されているので、必ず熟読のこと。 また、科目履修希望の申し出・手続きとは別に、e-Learningシステム(LMS)の登録が必要なので、必ず期限内に登録を完了すること。もし期限内に登録が完了していない場合は、履修を許可しない。 また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い主体的に学習に努めること。</p> |
| 備考 | <p>香川大学では主題科目B-3として開講。平成22～28年度開講の「コンピュータと教育」の単位取得者は履修できません。</p> <p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけて下さい。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにして下さい。 各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出してください。</p> |